



あきる野モンテッソーリスクール
AKIRUNO MONTESSORI SCHOOL

2027年4月入校 スクール案内

小学生のための
全日制モンテッソーリスクール

小学生に
「自分で世界を学びにいく6年間」を。

2026.1 改訂版

未来を切り開く子どもたちが、
自分で描く物語。



“ Knowledge can be best given where there is eagerness to learn, so this is the period (6 to 12) when the seed of everything can be sown, the child's mind being like a fertile field, ready to receive what will germinate into culture. ”

Maria Montessori

“To Educate the Human Potential”

「知識というのは、学びたいという強い思いがあるところに与えられるのが最善です。だからこそ、（6～12歳の）この時期の子どもたちは、学びの種を受け取る準備ができています。この子どもの精神は、豊かな田畑の土壌のようです。そこには、社会や文化の中で芽吹いていく、あらゆる学びの種をまくことができるのです。」

マリア・モンテッソーリ博士

「人間の可能性を伸ばすために」 より





児童期に子どもが「自分で考えられる」学びへ

モンテッソーリ教育といえば、幼児期の教育を思い浮かべる方が多いかもしれません。幼児期の様々な経験の土台の上に、素晴らしい数々の花が咲くのが児童期の教育、つまりモンテッソーリの小学校教育なのです。

子どもが自分の「なぜ？」を持ちはじめ、自分の頭で考え、行動できるようになる児童期に、探求的な活動や創造的な活動ができる環境を整えないわけにはいきません。



スクールの特徴

あきる野モンテッソーリスクールは、日本でも数少ない「**小学生のための全日制モンテッソーリスクール**」です。学びと生活、人との関わりが自然につながる環境を大切にしています。学びの軸は、モンテッソーリ・エレメンタリーカリキュラムである**宇宙教育（コズミック教育）**です。子どもたちは大きな視点で世界を捉えながら、想像力と探究心を広げ、自ら問いを立てて学びを深めていきます。教師（ガイド）は**主体的な学び**が生まれる環境を整えます。**AMI国際モンテッソーリ協会公認**のエレメンタリーディプロマを持つ教師が、**一人一人異なる成長のペースや興味に寄り添い**、日々の学びを支えます。アカデミックな学びに加え、食育も大切にし、調理の先生とともに毎日当番の**小学生が給食を作ります**。東京都あきる野市の**豊かな自然に囲まれ**、JR秋川駅からは徒歩7分。学びと暮らしが穏やかにつながる場所です。

このスクール案内では、あきる野の自然と人とともに歩む、私たちのモンテッソーリ小学校教育のかたちをご紹介します。





理事長よりごあいさつ

私ども、社会福祉法人 和の会（やわらぎのかい）は、2002年の設立以来、活動を続けてまいりました。2027年には創立25周年を迎えるにあたり、その記念事業として「あきる野モンテッソーリスクール」を開校いたします。

法人の設立は2002年ですが、私たちの活動の原点は、1989年に開設した「昭島モンテッソーリこどもの家」にさかのぼります。以来、35年以上にわたりモンテッソーリ教育を実践してまいりました。

現在は、あきる野市の「あきる野こどもの家」、立川市の「見影橋保育園」という2つの認可保育園を運営しており、いずれも0歳から6歳までのモンテッソーリ教育を実施しており、両園あわせて250名以上のお子様をお預かりしております。

また、関連法人である一般社団法人あきる野モンテッソーリトレーニングコースでは、あきる野こどもの家の別館「Casa di Tutti Akiruno」にて、国際モンテッソーリ協会（AMI）公認の、0歳から3歳までを対象とした教師国際資格取得のためのトレーニングコースを定期的で開催しております。

和の会では長年にわたり、モンテッソーリ教育の実践と普及に努めてまいりましたが、その対象はこれまで乳幼児（0～6歳）に限られていました。このたび、安倍陽子先生率いる「モンテッソーリ・ファーム」の皆様と共に、次の発達段階である「児童期（6～12歳）」を対象とした「あきる野モンテッソーリスクール」を、社会福祉法人の公益事業として、ここあきる野に開校できることを心より嬉しく思っております。

あきる野には、私たちの長年の活動の中で多くの卒園児や保護者の皆さまがおられます。また、日本に3カ所しかないAMI公認の教師トレーニングセンターが存在するなど、モンテッソーリ教育を学び、実践している方々が多数いらっしゃる地域でもあります。まさにモンテッソーリの文化が根付き、広く浸透している場所なのです。

さらに、あきる野は東京都内でありながら、美しい自然に恵まれた地域でもあります。秋川溪谷の入口に位置し、最寄りの秋川駅の北側には平井川、南側には秋川が流れ、いずれも多摩川と合流します。この豊かな自然の中で子どもたちを育てることができる環境は、まさに理想的と言えるでしょう。

自然に囲まれた暮らしを望む一方で、ただ「自然だけ」があればよいわけではありません。都市型の生活と自然が共存できる場所、子育て支援が整い、都市部へのアクセスも良好で、生活の利便性を確保しつつ、本物の自然がすぐそばにある――。

それが、「ちょうどいい田舎」＝あきる野なのです。

ようこそ、あきる野へ！

社会福祉法人 和の会

理事長 今野 徹 令和7年4月27日





あきる野こどもの家



見影橋保育園



あきる野こどもの家 別館
「Casa di Tutti Akiruno」



自然体験施設satoyama



秋川溪谷



秋川



校長よりごあいさつ

皆様

このたびは、あきる野モンテッソーリスクールに関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

モンテッソーリ教育は、100年以上前に生まれ、今なお世界中で広く実践されている教育法です。子どもの発達段階を深く理解し、丁寧に観察しながら環境を整え、その子の「自分で学び育つ力」を尊重し、大人はそっと援助者として寄り添います。

実践と、教育学・心理学等の土台の上に築かれたこの教育は、私たちがこれからの時代を生きるうえで大切にしたい「一人ひとりの個性」「主体性」「自立」を育むものだと確信しています。

けれども今の日本には、幼児期にモンテッソーリ教育に出会った子どもたちが、そのままの学びを継続できる場が、まだほんのわずかしかな存在しません。この「あたりまえが繋がらない」現状を少しでも変えていきたい。そんな思いで私たちは今、自然豊かなあきる野に、モンテッソーリ初等部を開校する準備を進めています。

この取り組みが、子どもたちの未来につながる種となり、やがて日本各地にモンテッソーリ初等教育が広がっていくことを願ってやみません。

子どもたちの健やかな学びのために、ともに歩んでくださる皆さまと出会えることを、心から楽しみにしています。

あきる野モンテッソーリスクール

校長 安倍陽子 令和7年4月27日

写真：モンテッソーリ・ファームの様子

※このパンフレットの活動写真はすべてモンテッソーリ・ファーム世田谷からのものです





モンテッソーリ教育とは

子どもの発達を第一に考えるモンテッソーリ教育

モンテッソーリ教育とは、イタリア初の女性医師であり偉大な教育学者でもある、マリア・モンテッソーリ博士（1870～1952年）によって、100年以上も前に考察された教育法です。

モンテッソーリ教育の基本は、「子どもは、自らを成長・発達させる力をもって生まれてくる。大人は子どもに教えるのではなく、子どもの力を信じ、自由を保障し、子どもたちの自発的な活動を援助する存在に徹しなければならない」という考え方にあります。

モンテッソーリ教育の目的は、それぞれの発達段階にいる子どもたちを適切に援助し、**「自立していて、有能で、責任感と他人への思いやりがあり、生涯学び続ける姿勢を持った人間に育てる」**ことです。

この目的を達成するため、マリア・モンテッソーリ博士は、子どもを観察し、そこから得た事実に基づいて教育法を構成し、独自の体系を持つ教具を開発しました。その教育法の正しさは、現代の脳生理学、心理学、教育学などの成果によって証明されているのです。

あきる野モンテッソーリスクールのカリキュラムは、マリア・モンテッソーリ博士が設立された国際モンテッソーリ協会 (Association Montessori Internationale) のカリキュラムに沿います。



マリア・モンテッソーリ博士と
息子のマリオ・モンテッソーリ



エレメンタリーのカリキュラムについて

児童期（6～12歳）のコズミック教育

マリア・モンテッソーリ博士は、児童期の子どもたちが持つ「知的好奇心」と「想像力」を最大限に活かせる教育のあり方を研究し、「**宇宙教育（Cosmic Education/コズミック教育）**」という学びの枠組みを生み出しました。そして、息子であるマリオ氏がカリキュラムとして体系化し、世界中に広めました。「宇宙」と聞くと、惑星などの理科的知識が中心と思われがちですが、実際はもっと広く、「世界と自分のつながり」を探る総合的な学びです。

世界とつながる、学びの旅

モンテッソーリの小学校教育（エレメンタリー）では、子どもたちは豊かな想像力を働かせながら、仲間とともに学びの楽しさを分かち合い、主体的に学びに向かいます。ひとつの教科にとどまらず、宇宙、生命、言語、数、文明など、あらゆる知識がつながっていく、壮大でダイナミックなカリキュラムです。その中心にあるのは、子ども自身が「**自分は世界とどうつながっているのか**」を発見していく旅です。

教室はいつも、探究と対話、そして表現するための試行錯誤にあふれています。目で見て、手で触れ、図鑑や本を手に取りながら必要な情報を探し出し、仲間と語り合い、自分の言葉で表現する。そんな毎日の積み重ねの中で、子どもたちは自分の力で活動し、考えることの楽しさを知っていきます。そして、自分という存在が、豊かな世界や社会の一部であるという感覚を育んでいきます。その過程で子どもたちは、自信や責任感、人や他の生き物への思いやり、そして地球や自然を敬う心を、少しずつ自分の中に育てていくのです。

写真：©Montessori Farm





物語の中で導かれるカリキュラム

5つの偉大な物語

カリキュラムの入口では、**5つの「偉大な物語 (Great Stories)」**が語られます。初めは**宇宙の創造**という壮大な物語から始まり、地球が生まれます。そして**生命が誕生**し、何十億年もの営みを経て、人類が暮らせる奇跡的な環境が整いました。そこに**人間が登場**します。人間には、物を作る手、愛の心、創造力という特別な力が備わっており、自然を超える文明を築いてきました。**文字**や**数字**もその力の中から生まれ、人間は協力し合いながら世界各地で巨大な文明を築き上げていったのです。

小学生はこうした物語を通して「**この世界の仕組みをもっと知りたい!**」と胸を躍らせ、様々な学問へと探究を広げていきます。これが**コズミック教育**の扉です。その扉の先には、自然界を貫く科学の法則、動植物の精巧なデザイン、幾何学の神秘や算数の美しさ、豊かな文学、心を打つ歴史、人と人を結ぶ音楽や芸術など、無数の驚きと学びが待っています。小学生にとって学びは知識の冒険であり、「**知りたいこと、やりたいことがいっぱいあって困っちゃう!**」というのがモンテッソーリ小学生ならではの微笑ましい悩みなのです。



5つの偉大な物語と学びのイメージ



カリキュラム概要



地理、理科

地球の事象を印象として伝える様々な表や、実験のレッスンがあり、子どもも実験をしながら世界の科学的法則を発見していきます。物質の三態の変化(固体・液体・気体)や、様々な液体の混合の実験はとてもワクワクするものです。また、太陽があるから昼夜があり、季節があり、空気や水の流れがあるといった全体像にも触れ、地球環境の奇跡を体感します。



歴史

大きくて長い巻物のような、3メートル程にもなる年表の数々！これがワクワクする歴史の秘密です。歴史に関する様々な視点から作られた年表と共に物語が語られます。さらには、「人間に必要不可欠なもの」という視点から、「文化的で豊かな生活を送るために、ある時代、ある地域では、どういった生活をしていたのか」というリサーチがあちこちで展開されます。



社会、公民

自分たちの生活を支えているお米はどこからきているのか、だれが作り、包装し、運び、販売され、自分の家庭に届いているのかという疑問から社会はスタートします。そして、地域とのつながりから相互依存に気づき、様々な産業や貿易で地域や世界の経済が成り立っていることを探索します。また、人間同士の相互依存という視点から税金と政治の世界にも入っていきます。



生物

生物学では、動植物がそれぞれの方法で生きる工夫を学びます。本物の動植物の観察や科学的分類を通して、観察力や分析力を育み、理性的に考える力を養います。解剖をしたり、顕微鏡で観察したり、植物を育てたりと、生物の学びは楽しく、幅広い内容にわたります。また、人体のしくみや生態系の相互依存など、探究心をくすぐる学びも豊富です。



数

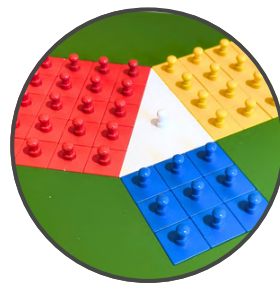
算数は、人間が抽象的な概念を操るのに必要不可欠で、巨大な文明・発明の多くは計算と共に作られてきました。エレメンタリーでは、数は楽しい「パズル」です。精巧に作られた美しい教具を操り、数の概念を獲得していきます。公式等を知る前に、まずは教具や経験を生かして自分で法則を発見する機会も十分にあり、柔軟な数学的頭脳を身につけることができます。





幾何（図形）

幾何学は現実の問題を解決するために活用されている面白い学問として紹介されます。そして、ピタゴラスやユークリッドの定理に触れたりなど、偉人の物語と共にレッスンが展開されます。魅力的な幾何の教具は、こどもの家のプログラムから密接に繋がり、様々な図形の面積や立体の体積、そして文章問題へと進みます。



言語（国語）

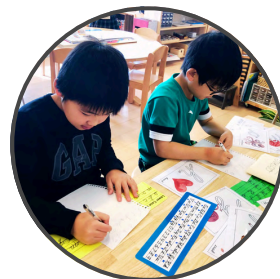


言語は全ての分野にかかるものですが、まずはカタカナの練習、そして漢字はつくりや語源に意識して、楽しく学びます。日本語文法に関しては、品詞や構文の学びなど、教具でするものもあります。様々な媒体で文章表現を経験し、言葉を操って言語活動を楽しみます。話す自由があるモンテッソーリ小学生の多くは議論が得意になります。様々な文学にも触れます。モンテッソーリ小学生は本が大好きで、家で「本の虫」になる子どももたくさんいます。高学年には、数百ページの本をさらっと読んでしまうようになる小学生も多くいます。

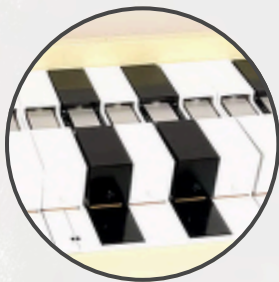
A

第二言語（英語）

英語は一番大切なフォニックスを大切にし、英語の歌を楽しみ、基本的な単語、会話、文法、などにも触れ、英語の楽しさを大切にします。スポーツの時間や遊びの時間にも英語を多く取り入れ、英語を「使う」ことを重視します。AMI国際エレメンタリー教師は、外国で教師のトレーニングを受けているため、英語を「使う」ことができます。この経験からも英語を教えていきます。



音楽



モンテッソーリ小学校には音楽がかかせません。教室では毎日のように歌を歌います。「聴く」活動では様々なジャンルに触れ、楽器の聴き分けも行います。教具では、「トーンバー」が特徴的で、簡単に音楽理論の美しさに触れられます。小学生は教具で音楽理論を学びながら、簡単に作曲もできます。音楽の敷居を下げ、音楽が好きになるのがモンテッソーリの音楽プログラムです。子どもによっては高学年でバンドを組む子ども達もいます。



アート

様々な道具と技法を紹介し、その中で歴史的に有名なアーティスト、美術の歴史などにも触れていきます。また、日常の活動の中で作った自分の図鑑や本などの表紙を飾る文字修飾、デザインの技法、製本など、アートは他の活動と一体となります。アートの要素では、線、質感、色の混合、雰囲気、明度と彩度、明暗、形、空間、遠近法、構図などが関係してきます。技法では、水彩、アクリル絵の具、点描、スクラッチアート、色鉛筆の技法、グラデーション、ブレンディング、バーニッシング、フロッタージュ、陰影表現、人体、顔の肖像画、粘土、版画、張り子による立体造形など、面白いアートの技法が数えきれません。





日常生活・家庭

小学生は、身体も頭もめいっぱい使う活動を好む時期です。あきる野モンテッソーリスクールでは、そうした児童期の特性を活かし、料理の活動を大切にしています。昼食は当番制で、小学生が調理を担当する教師と一緒に、クラス全員分の食事を毎日作ります。昼食づくりを通して、食べ物に含まれる栄養だけでなく、食材がどこでどのように育てられ、誰の手を経て自分たちのもとに届いているのか、収穫までにどのような手間や苦労があるのかを学びます。また、価格がどのような理由で決まるのかといった視点にも触れ、食を通して社会や経済の仕組みへの理解を深めていきます。そのほかにも、掃除や物の整頓、刺繍や裁縫などの手仕事を含む、日常生活に根ざした活動を幅広く行っています。



スポーツ



「モンテッソーリスポーツ」の資格を有する教師がスポーツを担当します。児童期ならではの大きな動きと細やかな身体の調整力を大切にしながら、運動する楽しさを感じられる活動を行います。子どもたちは、自分のペースで新しいことに挑戦したり、仲間と相談しながら競技に取り組んだりする中で、主体性や協力する力を育んでいきます。スポーツの時間では、全員が同じことをできるようになることを目指すのではなく、それぞれの得意なことを活かしてチームに関わる経験を大切にしています。また、仲間や相手を尊重する姿勢を通して、スポーツマンシップも学びます。勝ち負けのある中で「良い勝ち方、良い負け方」を知り、結果だけでなく過程を大切にしながら、スポーツを楽しむ心を育てていきます。



校外活動

エレメンタリーでは「地域に出ること」が大切にされています。リサーチの一貫で図書館へ本の宝探しへ出かけたり、深い研究に博物館へ出かけたり、農場や工場へ出かけたり。子どもが行き先の情報を調べ、電話をし、行き方も調べ、大人の同伴のもとでバスや電車などを使い小グループで出かけていきます。こういったことで、地域に出る、そして地域と繋がる自信や実感が持てます。場合によってはクラスが一斉に行く場合もありますが、ほとんどは子ども主体の小グループです。





学びを支える仕組み

モンテッソーリ小学生の「自由と責任」

エレメンタリーでは、子どもが自分の意思で活動を選び、考え、行動する力を育てることを大切にしています。教室では、活動場所の自由、活動内容の選択、グループ活動や対話の機会など、多くの「選択」が尊重されます。しかしその選択は、ただの「自由や好き勝手」ではなく、自分や周囲に対する責任を伴ったものです。そのため、選択の自由と責任のバランスを自然に学べるよう、子どもたちを支えるための仕組みが整えられています。

そのための大切なツールが、3つあります。

①「活動記録帳（ジャーナル）」

子どもは、自分がどんな活動をどれくらいの時間行ったのかを活動記録帳へ記録しながら、自分の学びを振り返ります。この習慣は、時間を意識して行動する力や、学びのバランスを自分で整える力につながっていきます。

②「教師とのミーティング」

定期的に子どもは活動記録や活動をもって教師と一対一で短い対話の時間をもちます。この時間は、教師からのアドバイスを受けるだけでなく、自分の苦手なことや得意なこと、挑戦してみたいことに気づく大切な機会になります。また、子どもがレッスンのリクエストを伝えたり、安心して思いを話せる場として、信頼関係の基盤にもなっています。

③「公教育のカリキュラム」

モンテッソーリ教育は子どもの興味を活かす学びを大切にしますが、同時に社会の一員として大切な基礎学習も丁寧に取り入れています。子どもが将来、地域や世界とつながっていくために、幅広く学問を理解することも重要です。教師はタイミングを見て、日本の通常の小学校カリキュラムがあることを子どもに説明し、「社会に出るために学んでおくこと」を把握する重要性も伝えます。

また、日本の学習指導要領の内容からもレッスンが行われます。このようなしくみの中で、自由と責任のバランスを学び、好奇心のままに学ぶ力と、それを社会につなげていく力を身につけていきます。あきる野モンテッソーリスクールの教育内容は、学習指導要領の内容をカバーするものになっています。



カリキュラム一覧表



地理/理科	歴史	社会、公民	生物	数	幾何（図形）
理科	黒い絨毯	人間の相互依存	植物学	十進法	幾何学の偉人達の物語
地球の形成と宇宙の概念	時計の学び	食べ物はどこから？	栽培、植物に必要なもの	かけ算の法則	合同、相似、等価
物質の性質	地球の歴史時計	公共施設、公共サービス	葉、根、茎、花、果実、種子	倍数、公倍数	偉人が見つけた等価の法則
太陽と地球	歴史の年表（西暦の年表）	税、政治の仕組み	植物界の分類（門〜科）	約数、因数分解	平面図形
空気のはたらき	手の年表（先史時代と有史時代）	経済地理学	動物学	割り切れる数	多角形
水のはたらき	人類の年表：第一・第二	地域や国の生産物	動物の世話	長いかけ算	角度
その他：力学、電気、燃焼	人間に必要不可欠なもの	生産量、消費量	動物のからだ	長い割り算	線
地理	歴史の3つの局面と発展段階	輸入と輸出、貿易	解剖	平方（2乗）、立方（3乗）	面積
河川	歴史の質問表	その他	動物界の分類（門〜科）	平方根、立方根	円
山脈	移民の表	自然災害、災害対策	生態系、人と環境	分数	立体図形
地図の読み取り	四大河文明 / 大河文明	公害とその防止	人体の仕組み	小数	多面体
国土の特徴	地域の歴史		体の成長、性	百分率 / 割合	側面積と表面積
	地域の伝統文化		心の健康	測量とグラフ	体積
	日本史		けがの防止	正負の数	様々な立体の体積
	世界史		病気の予防	累乗	その他
	偉人の伝記			十進法以外の基数	コンパスでの作図
				比率、割合、比例	
				文章問題（全分野）	
				代数（全分野）	

14 子どもたちの6年間の学びを、わかりやすく一覧にまとめました。
すべてのレッスンや活動は、学習指導要領の内容をしっかりとカバーしています。



国語	英語	音楽	芸術	日常生活・家庭	スポーツ
言葉や文法の学び	英語の歌	様々なジャンルの歌を歌う	アートの要素	学校生活	体力づくり
ひらがな、カタカナの歴史	フォニックス（発音の規則性）	様々なジャンルの歌を聴く	線、質感、色、色の混合	季節の遊び	器械運動
漢字の歴史、漢字のつくり	アルファベット	楽器の聞き分け	雰囲気と色、濃淡/色合い/色調、色価	衣	陸上運動
言葉の組み合わせ	基本的な単語	動き	形	食	ボール運動
品詞、構文読解	単語と語源	リズム	ポジティブスペース ネガティブスペース	住	*水泳はありません
書き言葉	基本的な会話	表記、音階の度数	遠近法/透視図法	消費生活・環境	ダンス・リズム運動
文章の基本構造	基本的な文法	シャープ、フラット	構図		なわとび・大縄・一輪車・竹馬・
文のルールと記号		調号 / 調子記号、へ音記号	様々な技法		表現運動・組体操
語句や表現の工夫		変調	絵の具の技法		*運動会競技はありません
文章の種類と目的		簡単な作曲	色鉛筆の技法		野外・自然運動
接続語・論理的なつながり			習字、水墨画		スポーツマンシップ
話し言葉			立体物、粘土技術		ヨガ等
スピーチ、発表、議論、裁判、			版画		
対話、劇、明確な表現			その他		
その他			本作り（製本）		
詩、短歌、俳句			有名なアーティストや作品		
様々な本の読み聞かせ			その他		
文学作品					
メディアリテラシー					



学びの風景

写真：©Montessori Farm

グループ活動

6歳までの幼児期のクラス環境では、静かな空間の中で一人ひとりが自分の活動に取り組み、「集中力」と「自立」を育んできました。一方、エレメンタリークラスになるとグループでの活動が増えます。**発見や驚き、議論や相談、教え合い、発表の練習**などがあふれ、教室の中は活気にあふれています。



活動の選択

6歳までのモンテッソーリ園と同様に、エレメンタリーでも子どもには「活動を自分で選ぶ」自由があります。そして、自分で考える力が育ってくるので、活動を選ぶ質は大きく変わってきます。教師は、子どもが主体となって発見学習や探究学習を始められるよう、さまざまなレッスンをを行います。子どもたちは、自分の興味や、繰り返して練習すべきこと、友だちと一緒に取り組む時間、クラス全体のスケジュールなどを考えながら、その時々に取り組む活動を選んでいきます。子どもは**興味のあることに主体的に取り組みながら、同時に優先順位のつけ方や時間管理、他者との調整**といった力も少しずつ身につけていきます。



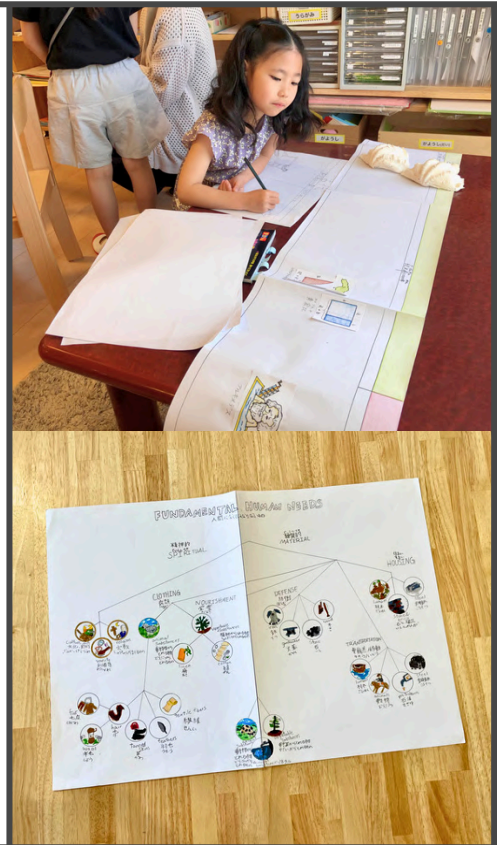
教具から紙/本へ（具体から抽象へ）

幼児期のモンテッソーリ園と同様に、エレメンタリーの教室にも教具はたくさんあります。教具を触りながら学んだことを、紙の上だけで書いて表現したり、議論したり、発表したりなどのアウトプットが増えます。つまり抽象的に表現したり、説明したりすることも学びの中で多くなります。本が読めるようになるので、自分が知りたいことを見つけるために、教室の本の中から情報を探したり、公共の図書館に向いて探すこともあります。**発見学習はまさに宝探しの冒険です！**



自主活動は独創的なアイデアで

幼児期に見られる「同じ活動を繰り返す満足感」とは異なり、児童期（6～12歳）の子どもたちは、想像力を広く働かせながら、**自分なりの考えや方法**で学びを深めていきます。**教師のレッスンをきっかけに、学んだことを発展**させたり、別の形で表現したりする姿が日常的に見られます。こうした自主的な学びへとつながる活動を支えるのが、モンテッソーリ教師の役割です。教師は答えを与える存在ではなく、環境を整え、学びの方向を示し、子どもが自ら進んでいくのを支える「ガイド」として関わります。エレメンタリーでは、整えられた環境と長く集中できる時間の中で、**Big Work（ビッグワーク）**と呼ばれる学びが生まれます。Big Workとは、子どもが**自分でテーマを選び、数日から数週間かけて取り組む、深く意味のある探究活動**です。読む・書く・調べる・考える・相談する・計画する・表現する力が自然につながり、内側からの意欲によって学びが進んでいきます。



1日のスケジュール（予定）

登校時間	8:15 ～
午前の活動	8:30 ～ 11:30
準備 & 昼食	11:30 ～ 12:15
お昼休み	12:15 ～ 13:00
午後の活動・掃除・振り返り	13:00 ～ 14:50
下校時間	14:50 ～ 15:00

- スケジュールは変更の場合があります
- 登校日は月曜から金曜の全日制（祝日・土日曜は休校）
- 基本的な登校日は公立の小学校に添います
- 春休み、夏休み、冬休み、ゴールデンウィークなどの大きなお休み期間は、基本的にあきる野市の公立小学校に沿いますが、学校の事情で例外もございます。



6～12歳の子どもの特徴

理性による探求の時期

モンテッソーリ教育では、6～12歳は「第2発達段階」とされ、理性、知的探求、社会性、道德意識が育つ大切な時期です。マリア・モンテッソーリはこの時期を「理性による探求の時期」と呼び、子どもは想像力を働かせながら、論理的に世界を理解しようとします。「なぜ？どうして？」という問いから論理的思考が育ち、抽象的な理解も進みます。興味のあることや疑問に思うことが見つければ、喜びと勢いの中でそれに関する知識を探求できます。

知的自立の時期

3～6歳の発達で大切なのは「自分のことを自分でできるように手伝って」というものでした。6～12歳の発達で大切なのは「自分で考えるのを手伝って」ということです。自分で考え試行錯誤をすることで、知的に自立していきます。

想像力と社会性の発達

想像力も高まり、現実には見えないものを本や物語から学ぶ力が育ちます。社会性も発達し、仲間と活動や討論を通じて学び合い、社会的柔軟性や公正さへの関心が深まります。「～さんはどう思っているのだろう。」と、立ち止まれば人の思いも想像できるようになっていきます。異年齢クラスでは助け合いが自然に生まれます。

道德意識の芽生え

この時期には「正義」や「善悪」への感受性が高まり、歴史上の人物や物語から道德的価値観を学びます。さらには、「気品と礼儀」のロールプレイの中で、こういった振る舞いが社会で求められているのか、こういった行動が周りの人のためになるのかなどを考えます。

エネルギーや強さ

エネルギーにあふれ、体を動かした学びや冒険が大好きです。幼児期よりも精神的に安定して強くなり、チャレンジを好む年齢です。

こうした児童期の発達の特徴に応え、
子どもたちが自らの力で世界を広げていくための
モンテッソーリ小学校教育を、私たちは築いていきます。





さいごに

モンテッソーリの小学校教育は、子どもへの「種まき」の可能性を信じています。
そして、未来をつくる力を、子ども自身の中に見出す営みです。

あきる野の自然の中で、一人ひとりの子どもがのびやかに、そして自由に考え、自らの
手で世界を発見していく。このスクール案内が、そんな学びの旅への第一歩となること
を願っています。

一粒の種が芽を出し、根を張り、やがて世界に一つだけの大きな木になるように。
ここで育つ子どもたちが、自分という存在に自信を持ち、他者とながり、
地域と世界へ貢献し、平和をもたらす存在へと育っていきますように。

あきる野モンテッソーリスクール 一同





あきる野モンテッソーリスクール AKIRUNO MONTESSORI SCHOOL

お問い合わせメールアドレス：

contact@akiruno-montessori.com

アクセス：

東京都あきる野市秋川3-5-15

- 五日市線 秋川駅から徒歩7分
- 拝島駅→秋川駅：8分
- 立川駅→秋川駅：21分
(乗り換えなしの場合)



あきる野モンテッソーリスクール



www.akiruno-montessori.com



その他情報

あきる野市 移住情報サイト「KOTOSUM」
www.iju.city.akiruno.tokyo.jp/



東京都フリースクール等利用料助成金 公式サイト
<https://tokyo-fs-support.metro.tokyo.lg.jp/>

